

月曜日

18

### きょうのみことば

出 21:1~11

あなたが彼らの前に  
立てる定めは次の  
とおりである。(1)

## じゅうよう 重要なことを知らなくて どれい 奴隷になりました

たくさん<sup>たくさん</sup>のことを知<sup>し</sup>っていても、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に重<sup>じゅう</sup>要<sup>よう</sup>な事<sup>じ</sup>実<sup>じつ</sup>を知ら<sup>し</sup>らな<sup>ら</sup>い  
なら、決<sup>けつ</sup>定的<sup>てい</sup>な瞬<sup>しゅん</sup>間<sup>かん</sup>に失<sup>しっ</sup>敗<sup>ぱい</sup>してしま<sup>し</sup>います。イスラエ<sup>い</sup>ルは神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>  
の多<sup>おほ</sup>くの祝<sup>しゆ</sup>福<sup>ふく</sup>と重<sup>じゅう</sup>要<sup>よう</sup>な契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>を受<sup>う</sup>けた国<sup>くに</sup>でし<sup>た</sup>。しか<sup>し</sup>、な<sup>な</sup>ぜ  
エジ<sup>え</sup>プトの奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>にな<sup>な</sup>って、バビ<sup>ば</sup>ロンの捕<sup>ほ</sup>虜<sup>りよ</sup>にな<sup>な</sup>って、ロー<sup>ろ</sup>マの  
属<sup>ぞく</sup>国<sup>こく</sup>にな<sup>な</sup>ったのでし<sup>ょう</sup>か。

### 1. げんざい どれい になっ た理由

イスラエ<sup>い</sup>ルがエジ<sup>え</sup>プトの奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>にな<sup>な</sup>った理<sup>り</sup>由<sup>ゆう</sup>は、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>（契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>）と  
伝<sup>でん</sup>道<sup>どう</sup>と宣<sup>せん</sup>教<sup>きょう</sup>を正<sup>ただ</sup>しく知<sup>し</sup>らな<sup>ら</sup>か<sup>た</sup>ったからで<sup>す</sup>。エジ<sup>え</sup>プトは福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>を  
伝<sup>た</sup>えな<sup>ら</sup>ばな<sup>ら</sup>ない国<sup>くに</sup>でし<sup>た</sup>。しか<sup>し</sup>、イスラエ<sup>い</sup>ルは、重<sup>じゅう</sup>要<sup>よう</sup>  
な理<sup>り</sup>由<sup>ゆう</sup>をの<sup>の</sup>がし<sup>た</sup>ので、奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>にな<sup>な</sup>ってしま<sup>し</sup>ったので<sup>す</sup>

### 2. みらい どれい にな る理由

悪<sup>あく</sup>魔<sup>ま</sup>はしばしば問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>をあた<sup>え</sup>て、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がすよ<sup>う</sup>にさせ<sup>ま</sup>す。  
または良<sup>よ</sup>いもの<sup>もの</sup>をず<sup>ず</sup>とあた<sup>え</sup>て、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がすよ<sup>う</sup>にさせ<sup>ま</sup>す。  
イスラエ<sup>い</sup>ルは、悪<sup>あく</sup>魔<sup>ま</sup>のこ<sup>こ</sup>の2<sup>に</sup>つ<sup>つ</sup>の戦<sup>せん</sup>略<sup>りやく</sup>にい<sup>い</sup>つもだ<sup>だ</sup>まされ<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。  
問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>が来<sup>き</sup>たら心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>してしま<sup>し</sup>ま<sup>つ</sup>て福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がし<sup>て</sup>、良<sup>よ</sup>いこ  
とが来<sup>き</sup>たら高<sup>こう</sup>慢<sup>まん</sup>にな<sup>な</sup>って福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がし<sup>た</sup>のでし<sup>た</sup>。

### 3. ただ福音

福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がせ<sup>ば</sup>、イスラエ<sup>い</sup>ルのよ<sup>よ</sup>うにな<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。しか<sup>し</sup>、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>  
はそ<sup>そ</sup>のた<sup>た</sup>びにレ<sup>れ</sup>ムナ<sup>な</sup>ントを立<sup>た</sup>てて福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>を回<sup>かい</sup>復<sup>ふく</sup>して、国<sup>くに</sup>と民<sup>みん</sup>族<sup>ぞく</sup>  
を生<sup>な</sup>かさ<sup>れ</sup>ま<sup>し</sup>た。みな<sup>みな</sup>さん、聖<sup>せい</sup>書<sup>しよ</sup>はた<sup>た</sup>だ福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>（キ<sup>き</sup>リ<sup>り</sup>ス<sup>す</sup>ト）だ<sup>だ</sup>けを  
強<sup>きやう</sup>調<sup>てう</sup>していま<sup>ま</sup>す。聖<sup>せい</sup>書<sup>しよ</sup>を正<sup>ただ</sup>しく知<sup>し</sup>って、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をし<sup>し</sup>かりと<sup>と</sup>  
に<sup>に</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>って、イスラエ<sup>い</sup>ルと<sup>と</sup>同<sup>どう</sup>じ失<sup>しっ</sup>敗<sup>ぱい</sup>をし<sup>し</sup>ないよ<sup>う</sup>にしま<sup>し</sup>ま<sup>し</sup>よう。

イスラエ<sup>い</sup>ルは福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がし<sup>て</sup>、苦<sup>く</sup>しむよ<sup>う</sup>にな<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>た。神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>、私<sup>わたくし</sup>に恵<sup>めぐ</sup>みをあた<sup>え</sup>てく  
ださ<sup>つ</sup>て、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をも<sup>も</sup>つと深<sup>ふか</sup>く知<sup>し</sup>って、悟<sup>さと</sup>るよ<sup>う</sup>にさせ<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>に出<sup>い</sup>会<sup>かい</sup>つたり、良<sup>よ</sup>い  
こ<sup>こ</sup>とがあ<sup>あ</sup>つても、福<sup>ふく</sup>音<sup>いん</sup>をの<sup>の</sup>がさ<sup>さ</sup>ないで、主<sup>しゆ</sup>ととも<sup>と</sup>に<sup>に</sup>い<sup>い</sup>る祝<sup>しゆ</sup>福<sup>ふく</sup>を味<sup>あじ</sup>わ<sup>わ</sup>せ<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。イ<sup>い</sup>エ  
ス様<sup>さま</sup>のお名<sup>い</sup>前<sup>ぜん</sup>によ<sup>よ</sup>つてお祈<sup>いの</sup>りしま<sup>し</sup>ま<sup>す</sup>。ア<sup>あ</sup>ーメン

✪ 定<sup>てい</sup>刻<sup>こく</sup>祈<sup>いの</sup>りの点<sup>てん</sup>検<sup>けん</sup>：昼<sup>ひる</sup> 12時 教<sup>きやう</sup>会<sup>かい</sup>のた<sup>た</sup>めに祈<sup>いの</sup>りま<sup>し</sup>ま<sup>し</sup>よう。夜<sup>よ</sup> 9時 RUTCのた<sup>た</sup>めに祈<sup>いの</sup>りま<sup>し</sup>ま<sup>し</sup>よう

## じょうへき けんちく 城壁の建築を

## さまたげる人たち

トビヤとサヌバラテは、ネヘミヤがエルサレムの城壁を立てていることに  
反対しました。サヌバラテの場合は、ネヘミヤを殺そうとまでしました。  
レムナントが、ネヘミヤならば、このような状況で、どうしますか。  
ネヘミヤが言う言葉を考えて、書いてみましょう。



火曜日

19

きょうのみことば

ローマ 11:31 ~ 36

なぜなら、神は、すべての人をあわれもうとして、すべての人を不従順のうち閉じ込められたからです。(32)

## 神様のあわれみをうけた レムナント

アフリカのある貧しい国では、150円があれば、一つの家族が一週間、食べて暮らすことができます。しかし、そのお金がないので、飢え死にしているのです。霊的にも同じです。福音を知らない多くの人は、苦しみの中で生きて死んでいっているのです。

### 1. 神様はあわれみ深いお方です

神様をこい方だと思っている人たちがいます。まちがったことをするか、しないかを見守っていて、失敗でもすれば「こいつ!」と言いながらこらしめる方だと思っています。神様はそのような方ではありません。神様は愛です。あわれみをあたえてくださる方です。肉体の問題、精神問題、災いの中にいる私たちを救い出すために、キリスト・イエスを送られた方です。

### 2. 神様があたえられたあわれみは何ですか

大きく2つのあわれみをあたえてくださいました。最初に、キリストを送ってくださって、悪魔の手の中から救い出してくださいました。二つ目は、救われた者の心の中に聖霊でともいて働いてくださいました。それで、神様の子どもが行く所ごとに、天の軍隊が働いて、悪魔の力がくずれずれます。

### 3. 神様のあわれみをおぼえましょう

問題がくれば、くらい思いと心配でいっぱいになるのでしょうか。レムナントのみなさんは、神様の子どもです。神様は子どもにあわれみをあたえてくださいます。みなさんがあわれみで力を受けて、福音を知らないお友だちに神様のあわれみを伝えることを望んでおられます。

あわれみの神様、私に毎日、新しい力を増し加えてください。そして、福音を知らない友だちに神様のあわれみを紹介することができるように、恵みをそいでください。あわれみをあたえてくださる神様に感謝して、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

Kidz Quiz 12

# Who am I?

私はだれでしょう?

I was conceived by the Holy Spirit. 私は聖霊によって身ごもりました。  
I came to this world according to the scriptures.

私は、聖書に記録されたとおりに、この世に生まれました。

The day I was born, three wise magi came to see me.  
私が生まれた日、三人の東方の博士が私に会いに来ました。

They came to Bethlehem guided by a star.  
彼らは、星に導かれてベツレヘムに来ました。

As I lay in the manger, they came to me, bowed and worshiped me.  
彼らは、かいばおけに寝かされていた私にきて礼拝しました。  
They opened their treasure chests and gave me gold, frankincense and myrrh.  
宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬をくれました。  
A long time later, I died on the cross.  
のちに、私は十字架で死にました。  
But, I rose again after three days.  
しかし、三日後によみがえりました。

I am the Christ that did the work of the priest, prophet and king.  
私は祭司、預言者、王の役割をするキリストです。



水曜日

20

### きょうのみことば

使徒 16:16~18

幾日もこんなことをするので、  
困り果てたパウロは、  
振り返ってその霊に、  
「イエス・キリストの  
御名によって命じる。  
この女から出て行け。」と  
言った。すると即座に、  
霊は出て行った。(18)

## 神様のみことばは じょうじゅ かならず成就します！

パウロが2回目の伝道旅行に出發したときのことです。主人の占いをする悪霊につかれた女奴隷が、パウロの伝道チームを見て、ついてきて大きな声で叫びました。「いと高き神様のしもべたちです！この人たちは、あなたがたに救いの道を伝えているのです！」女奴隷は、何日も続けてこのように言いました。

### 1. 成就するみことば

がまんできなくなったパウロは、ふりかえって、その悪霊にみことばを宣言しました。「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け」とすると、悪霊がすぐに離れてしまいました。神様のみことばは、このようにかならず成就します。神様は、いつもみことばをくださって、時刻表になれば、かならずそのみことばをなしとげてくださいます。

### 2. 伝道キャンプ時代の主人公

神様はイザヤ 6章13節に、レムナントに対するみことばを宣言されました。レムナントをパウロのように、伝道キャンプ時代の主人公として呼ばれました。神様は、レムナントに向かって王である祭司、聖なる国民、暗やみから呼び出された、神様の驚くべき光の中に入るようにされた、その方のすばらしいみわざを宣べ伝える者だとおっしゃられました。神様のみことばは、どうなると言われているのでしょうか。かならず成就すると言われているでしょう。神様は、レムナントに主的・祭司的・預言者的権威をあたえてくださって、現場で勝利するようにしてください。

すばらしい神様、私を伝道キャンプ時代の主人公として呼んでくださって、ありがとうございます。王・祭司、預言者の権威をもって、現場で福音を味わって、神様の時刻表を待ち望む伝道弟子にならせてください。みことばをなしとげられるイエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

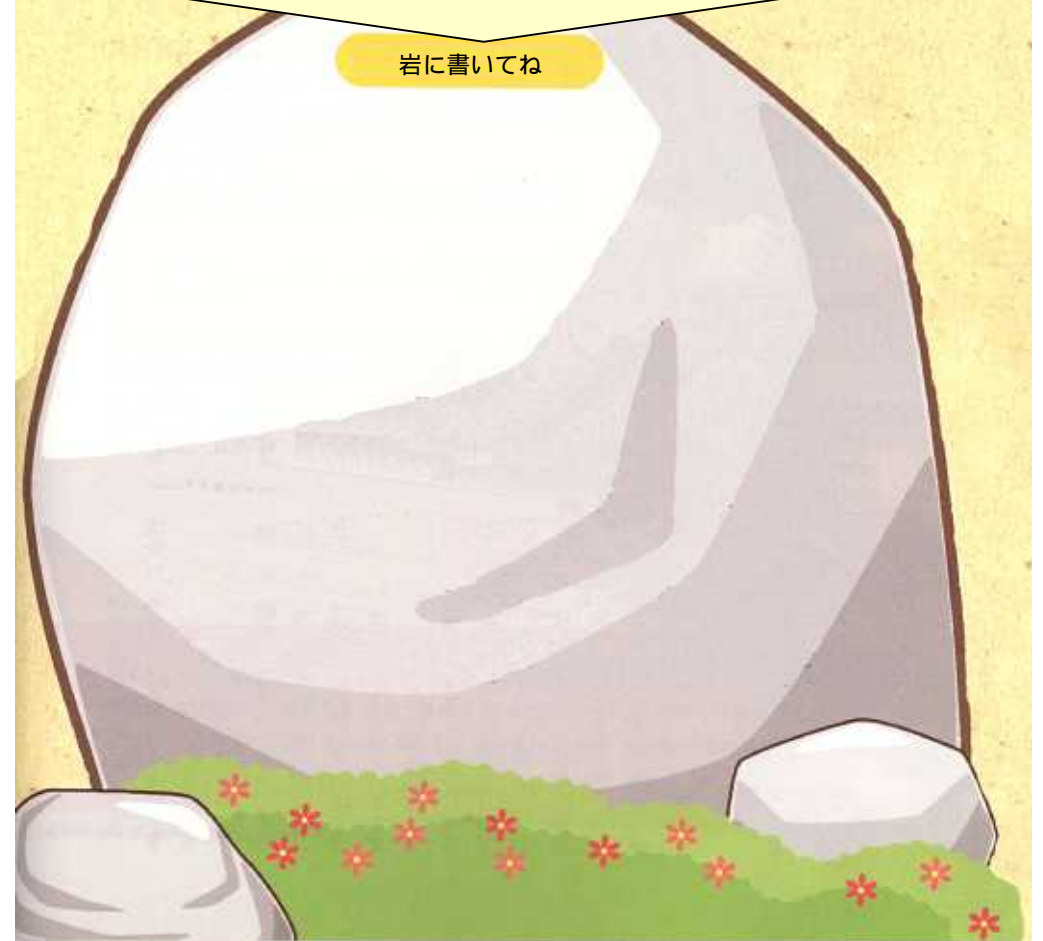
定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう

## でんどう じだい しゅじんこう 伝道キャンプ時代の主人公

レムナントは伝道キャンプ時代の主人公として呼ばれました。どんな主人公として呼ばれたのでしょうか。サタンの力を打ちたく王、災いをふせぐ祭司、神様に会うようにさせる預言者の祝福の主人公として呼ばれました。この事実を忘れないようにペテロの手紙第一 2章9節のみことばを岩に書きましょう。

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。(ペテロの手紙第一 2章9節)

岩に書いてね



木曜日

21

### きょうのみことば

使徒 13:1~12

彼らが主を礼拝し、断食を  
していると、聖霊が、  
「バルナバとサウロを  
わたしのために分別して、  
わたしが召した任務に  
つかせなさい。」と言われた。  
そこで彼らは、断食と  
祈りをして、ふたりの上に  
手を置いてから、送り出した。  
(2-3)

## わたし 私はだれ？

ひとりで部屋の中にいるとき、どんなことを考えますか。ひとり  
でいる時間を、どんなふうに過ごしていますか。ひとりでい  
るとき私の姿、私の考え、私の行動が、他の人が知らな  
い本当の私の姿です。

### 1. 私は王、祭司、預言者です

ひとりでいる時、ゲームのことだけを考えていますか。好きな  
友だちのことだけを考えていますか。レムナントのみなさん、  
ひとりでいる時、本当に「私」を見つけなければなりません。  
レムナントは、1ペテロ2章9節に出ている、そのような人な  
のです。サタンの権威を破る王的権威を持った人です。災いを防  
ぐ祭司的権威を持っている人です。未信者が神様に会えるよう  
に手助けする預言者的権威を持っている人です。このような  
権威を持った「私」を、頭でだけ分かるのではなく、本当に心で  
知って、味わわなければなりません。

### 2. 私は生かす人です

ひとりだけが聖霊に満たされれば、家庭が生き返ります。ひとり  
だけが、教会のために祈れば、教会が生き返ります。ひとり  
だけが、地域現場を置いて祈れば、教会の内と外で多くの弟子が  
立てられます。ひとりを通して、国と世界が生かされます。そ  
のひとりが「私」です。それがまさにレムナントのプライドな  
のです。

神様、ダビデのように、ひとりでいるときに祈りで神様と深く対話をする恵みをあたえて  
ください。そして、私がだれなのか、どんな存在なのかを悟らせてください。王的信仰で、  
私と家庭と教会と国を生かすように導いてくださるイエス・キリストのお名前によってお  
祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

## 水の上を歩かれたイエス様

「ガリラヤや湖の向い側のカペナウムに  
先に行っていないかい」

イエス様が弟子たちにおっしゃいました。  
弟子たちはイエス様のみことばに  
従って、ガリラヤや湖を渡る船に  
乗りました。弟子たちが船に  
乗ったあと、イエス様は  
自分のおまわりに乗って  
いた人たちを返され  
ました。そして、  
山の上にあがって、  
夕方になるまで、  
ひとりでお祈られ  
ました。

「あっ、私は今、水の上を…」

ペテロはどくどくとして、こわくなりました。その瞬間、ペテロは、水に  
沈みはじめました。

「たすけてください、イエス様！」

イエス様はすぐに手を差し出して、ペテロを  
つかんでくださいました。

「信仰が深い人だな。なぜ疑うのか」

イエス様はペテロにおっしゃいました。

ペテロとイエス様が船の中に入られたら、  
風は静かになりました。

レムナントのみなさんにも、ビュービュー

荒々しい嵐のような問題が来ることで  
あります。そのとき、ペテロのように

信仰がなく、その問題に沈んで

いくことはないようにしましょう。

すべての問題の解決者である

イエス様をかたく信じて、

勝利しましょう。

## せいれい みちび う 聖霊の導きを受ける人

金曜日

21

### きょうのみことば

使徒 11:25-26

バルナバはサウロを捜しにタルソへ行き、彼に会って、アンテオケに連れて来た。そして、まる一年の間、彼らは教会に集まり、大ぜいの人たちを教えた。弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。

はじめて行く道を行くとき、ナビゲーションをつけて行くと、心配することはありません。ナビゲーションが、道をみな案内するからです。ところで、明日の午後4時、どんなことが起きるのかを前もって知っている人はいますか。

この世の明日の午後4時にどんなことが起きるのか知っている人はだれもいません。20年後、私がどんな大人になっているかもまったくわかりません。

初代教会を迫害したパウロも同じでした。伝道者になるとは夢にも思っていませんでした。

ある日、パウロはダマスコでイエス様に会いました。アナニヤとバルナバを通して、福音を味わうようになりました。パウロがかしこくて良い家系の人だから、こういう祝福を受けたのでしょうか。ちがいます。世界の墓の置かれる前から予定された神様の計画によって、聖霊の導きを受けただけです。

聖霊の導きを受けた人々には、共通の特徴があります。みんなひとりで「神様との深い出会い」を持ちました。神様との深い出会いがとは何でしょうか。それが祈りの時間なのです。

聖霊の導きを受ける人々は、みんなひとりでいる時間に神様と深い祈りの時間を持ちました。その時間を通して、神様の計画と神様のみこころを発見して方向を合わせました。

レムナントのみなさん、神様はみなさんに会いたがっておられます。たったの1分でも、ひとりでいる時間に神様と会う祈りの時間を持ってみましょう。

神様、私も聖霊の導きを受けたいです。そして、ひとりでいるとき、神様と出会う時間を持ちたいのに、いつも何かが起きます。1分だけでも祈りの時間を持って、神様の計画とみこころを発見することができるように働いてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

◎ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

弟子たちが乗った船は、オリラヤ海の前かい偏のカペナウムに向かって行きました。ところが、突然、強風が吹いて波が荒れ始めました。

「ああ、大変なことになったよ。大変なことになった。波がますます荒れていく！」

「おい、あそこを見ろ！ 水の上の人が歩いてきている！」

「なんだって。どこだ？ どこ？」  
弟子たちは水の上を歩いてくる人を見たので、あわてふためいてしまいました。

「幽霊だ！」

だれかが大声を振り上げました。

「安心しなさい！ わたしだ！」

恐れることはない！

イエス様が水の上を渡って来ながら、

弟子たちにおっしゃいました。

「本当にイエス様ですか？ それでは

氣に水の上を歩いてきなさいと

言ってください！」

ペテロがイエス様に言いました。

「来なさい！」

イエス様が言われました。

ペテロは、喜んで船から

おりて水の上を歩いて

イエス様のところに行きました。

ピロピロ

ところが、急に

強い風が吹いたので。

2

3

23日(土)

## わたし 私は **なぜ** こうなの？

「エイタ！今、何時だと思っているの！夜中の3時でしょ！いったい何を考えているの？」

ママは、コンピュータの電源をプチッと切って、ドアをバンと閉めて出て行った。

「ああ、つかれた」

ぼくは目をこすりながら起きた。いつの間にか朝だった。消えたコンピュータの前で、ぼうって座っていて、寝てしまったようだ。

首を左右に回したところ、首が「ポキポキ」という音がした。

てきとうに顔を洗って、ご飯を食べて、午前にある聖書の学びの集いに参加するために、のそのそと服を着た。そして、とぼとぼと歩いて行ったら聖書の学びの集いをする場所にミサキが到着していた。

「エイタ、なんて顔をしているの？」

ミサキが、目をパチクリさせて聞いた。

「うーん。昨日、夜中までコンピュータゲームをしていて、そのまま寝てしまったんだ。ちょっとだけしようと思ったのに、失敗しちゃった。ママは、ものすごく怒って…こんなこと、もう何回しているか分からない。フー」

ぼくは、両手で髪の毛をひっぱった。

「私は携帯電話で友だちにメールを送っていたら、電話料金がものすごく多くなって、ママに携帯電話を取り上げられたの。そんなにたくさん送るつもりはなかったのに。そうなってしまったんだ」



ていこくの てんけん  
定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

「先生は、あるとき、テレビの前から立ちあがれなかったの。ときどき、夜の12時を過ぎることもあったの。ママが見ないようにテレビを消したので、どれくらい怒ったか、とてもいらいらしたの。テレビをたくさん見ないと、いつも決心するのになぜできないのかわからなかったの。でもね、そうではないの。あなたたちは、今、いっしょうけんめいに霊的な戦いをしているところなのよ」

ぼくは頭をあげて先生を見つめた。

「パウロも、あなたたちと同じ悩みをしたのよ。心で神様のみことばにしたがって生きたいと思ったのに、からだがよくできない時があって、とても苦しんだのよ」  
「ほんとうに？」

「そうなの。私たちは神様の子もだけれど、あいかわらず罪でいっぱいな世の中に生きているから、多くの問題にぶつかるようになるの。今、だめな私の姿につぶされることなく、みことばをにぎって祈りで霊的な戦いをして勝利しましょう！」

「ほんとうに、勝利することができるの？」

「もちろん！隊長であるイエス様がすでに勝利しておられるから」

「わお！」

ぼくはびっくりした声を出した。そして、心の中で思った。

「今日から、決意だけではなく、祈りで暗やみをくぐらせて、神様に満たされる力を受けなくちゃ！」